

嶽山広場の草刈りをし、道の点検と掃除をしました。



嶽山広場

エノキを2本、植えました。

アカネのまわり

アカネのまわりと歩道にロープを張りました。草刈りは3通りの方法で実験。

- Aと歩道：今まで通りの草刈り。
- B：高刈り(地上から15cm位で刈る)
- C：草刈りをしない。

アカネ染め

アカネの根を使って染めると茜色になります。

畑で栽培した茜



アカネの根



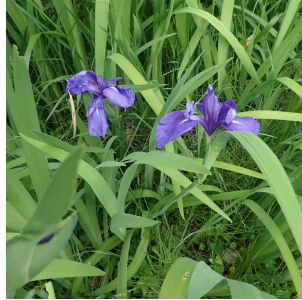
染めと機織り：安長妙子



シオカラトンボ



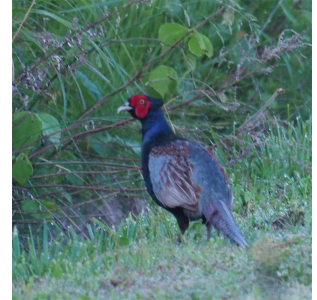
カキツバタ



イノシシ



キジ



インスブルックでハイキング

インスブルックはオーストリア・チロル州の州都で登山やスキーの基地です。6月から10月までバスとガイド付きの無料ハイキングが毎日行われています。私が参加した時は午前9時に集合場所へ行くとガイドとバスが待っていて集まった人々を乗せて出発。昼は山小屋や農家レストランで一休み。歌の得意なガイドがヨーデルを歌うことがありました。時には1時間以上も！ デンマークから来た女性2人はユースホテルに泊まり毎日参加。昼はレストランの外でニンジンやパプリカを食べています。夕方、会いに行くと木陰で読書。日光を浴びて安上がりで楽しい休暇を過ごしていました。



山小屋の主人も出てきて・・・

嶽山と周辺の自然 ①



嶽山から半径約1kmの円内

はじめに

嶽山から半径約1kmの円内の動植物をまとめました。「京都府レッドデータブック2015」の絶滅危惧種・準絶滅危惧種・要注目種が含まれ自然が豊かな地域です。1987年頃から関西学研都市の開発が始まり精華町周辺の丘陵地帯が研究所や住宅地になり、動植物の姿が消えました。しかし、周りに里山が残り開発された所に緑が増え動植物が少しずつ戻り、今では何とか生態系のピラミッドが成り立っています。我々人類は生態系の一部で、食べている物は栽培された物を含めて全て自然の産物です。水や空気がきれいでないと安心して生きていけません。子孫に豊かな自然を残すことが私たちの使命のような気がします。東畑ではこれ以上の開発はしないで自然と共生する道を探る、この事が魅力ある地域になる最善の方法だと思います。

自然と触れ合い、様々な動植物の神秘的な生き方を見て生物が循環している不思議さを感じると自分にとっての再発見があり、生き方を学べると感じています。

京都府レッドリストカテゴリー（野生生物 2015）

区分	基本的概念
絶滅種	京都府内ではすでに絶滅したと考えられる種
絶滅寸前種	京都府内において絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧種	京都府内において絶滅の危機が増大している種
準絶滅危惧種	京都府内において存続基盤が脆弱な種
要注目種	京都府内の生息・生育状況について、今後の動向を注目すべき種および情報が不足している種

嶽山から半径約1kmの円内

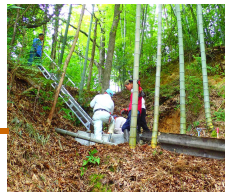
地理院地図(電子国土Web)



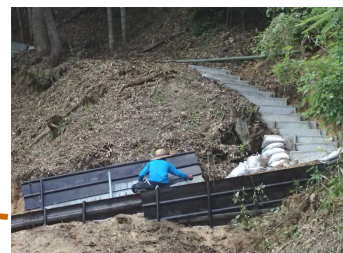
鳥谷池からの道作り



ハシゴ 2015/6/28



2015/6/21 ペンキ塗り



2015/6/20



2016/4/11

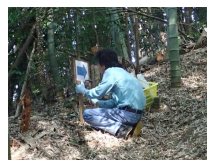
コンクリートをバケツ
リレーで運び登り
口からハシゴ
まで塗る。



2015/6/20



2015/9/19



2015/10/24



2015/12/12

